

万代の風

万代コミ協だより第27号

2017年(平成29年)7月15日
 万代地域コミュニティ協議会
 発行者:丸田 喜也
 新潟市中央区天明町19-16

川風と海風の萬代橋の心地よいそよぎ

新年度にあたり
 万代地域コミュニティ協議会
 会長:丸田 喜也



平成29年度総会を経て新年度
 事業がスタートしました。万代地
 域コミュニティ協議会に加盟さ
 れている自治・町内会、それに構
 成団体の皆様方には常日頃、当コ
 ミ協の運営
 に大変ご理
 解とご協力
 を頂き有難
 うございま
 す。

平成29年度総会を経て新年度
 事業がスタートしました。万代地
 域コミュニティ協議会に加盟さ
 れている自治・町内会、それに構
 成団体の皆様方には常日頃、当コ
 ミ協の運営
 に大変ご理
 解とご協力
 を頂き有難
 うございま
 す。

は平成18年に政令市に移行する
 時に設けられた組織、今年で10
 年の節目を迎えます。地域のこ
 は地域で考え解決する。構成団体
 間の調整とりわけ市との懸け橋
 役を担っておると理解すること
 ろですが、コミ協の認知度は低く
 コミ協の活動に関わる自治・町内
 会の間ではこの活動に対する認
 知度に於いて大きな差が見受け
 られます。コミ協では毎月一回定
 例役員会、中央区にある22のコ
 ミ協連絡会・自治協議会の報告等
 情報の交換をやっており、又、当
 コミ協や自治会に関連した行政
 の動きを伝えていきます。

年齢がこの住み慣れた地域で介
 護や医療が受けられる安心・安全
 な町にする為に、行政と地域が一
 体となり活動していく所存です。
 会員の皆様から更なるご協力を
 お願いいたします。役員一同今まで
 も増して頑張る事をお伝えし
 挨拶と致します。

コミユニティ協議会総会

6月23日(金) 東新潟コミユ
 ニティセンターで平成28年度総
 会が開催され、各議題を審議しま
 した。28年度事業報告、28年度
 収支決算報告、監査報告。29年
 度事業計画、同予算、役員一部改
 選の件を提案しすべて滞りなく
 承認されました。以下本年度組織
 役員、自治会町内会の役員の方々
 を紹介します。

万代地域コミュニティ協議会

- 組織及び役員
- 会長 丸田 喜也
 - 副会長 竹石 三伸
 - 副会長 関谷美紀枝
 - 副会長 大屋 和弘
 - 副会長 田所 暁雄
 - 広報担当理事 薄田 稔
 - 万代地区社協会長理事 武田 徳広
 - 事務局長理事 丸山 健一
 - 会計理事 栗山 和広
 - 監査 宮川 善徳
 - 監査 丸山 健一
 - 理事 自治町内会長 14名
 - 出向役員 自治協議会委員 関谷美紀枝
 - 自治地区社会福祉協議会

中央区住みよい郷土推進協議会
 薄田 稔
 保坂 玲子



出席者数31名、東新潟コミセン206号

部会

- 総務部会部長 竹石 三伸
- 会計理事 丸山 健一
- 事務局長 武田 徳広
- 文化・広報委員会委員長 田所 暁雄
- II 副委員長 宮川 善徳
- 街づくり部会 丸田 喜也
- 福祉部会部会長 薄田 稔
- 副部長 本多 功
- 防災部会部会長 大屋 和弘
- 副部長 田中 克典
- 青少年部会部会長 武田 徳広
- 副部長 石原 直子
- 健康部会部会長 塩田 美幸
- 副部長 大宮 一真
- 自治会・町内会会長 谷口 佐一
- 宮浦自治会 丸田 喜也
- 天明町自治会 丸田 喜也
- 万代6丁目自治会 黒井 幸一
- 東大通2丁目自治会

- 神明自治会 丸山 健一
- 宮浦高耐自治会 関谷美紀枝
- 池田 佳穂
- 三和町自治会 田中恵美子
- 東万代町自治会 竹石 三伸
- 万代中央自治会 立川千鶴子
- 花園1丁目自治会 後藤 広栄
- 花園2丁目自治会 塩田 美幸
- 明石1丁目自治会 熊谷 正春
- 東大通1丁目自治会
- 萬代橋町内会 大屋 和弘
- 栗山 和弘

万代地区防火防犯防災役員

- 会長 大屋 和弘
- 副会長 田中 克典
- Aブロック長 五十嵐 勉
- Bブロック長 霜鳥 清
- Cブロック長 飯田 利一
- 事務局長 小熊 雅幸
- 婦人部長 野口恵美子
- 副部長 山口 明子
- 猪股セイ子
- 浅妻 久和
- 後藤 広栄
- 土岐 栄治
- 会計 大屋 和弘
- 会計監査 田中 克典



備蓄食料を無理なく使い回す調理実習
 防連主催: 田中稔子講師 7月1日
 “ライフラインが途絶えたらどうします”
 炊飯器がなくても深めの厚手鍋でご飯が
 炊けます。防災訓練の大事な一つ!!

一流作場開拓者略伝

流作場どっと時代 その4

流作場の開拓は延享三年長岡藩主牧野忠敬の藩財政建て直し策で「附寄島」開拓権利を地代金二千七百五十両で与える公募をした。此れに安倍玄的、近江屋曾平、寺山幸助、中倉源兵衛、関川助市連名で応じ認められた。

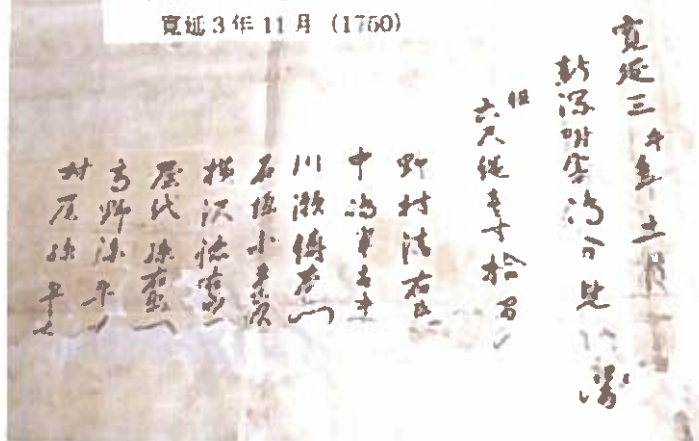
一、安倍玄的橋香方（白河領五泉町民）安倍家は奥州の名族安倍貞任を遠祖とし安倍茂助が山形より越後国に移住した。元和四年安倍善兵衛が中蒲原郡新関村大字安倍新を開き代々庄屋を勤めた。白河領五泉に居住し屋号を「新津屋」と言つ漢方医であった。玄的は寛文二年誕生、長じて漢方医と成り村松藩御殿医を勤め新田開拓事業家でもあった。西蒲巻町赤銅、中之口村等で新田開拓をした。延享三年八十五歳の高齡ながら地代金を納め附寄島の開拓に後継者二郎衛門、権太夫達と同年八月入植した。寛延三年七月十五日享年八十九歳で歿し第一次計画終了検地を受けた。（五泉は福島白河藩松平家飛び地領）

一、近江屋曾平（新潟町民）近江屋は本姓宮川氏、先祖は宮川縫殿祐、其の出自は近江国宮川村で屋号を近江屋と言ひ慶長年代新潟浜村に移住。慶長十九年高田藩主松平忠輝の命で新潟町肝煎となり明治まで町役の要職を務めた名家。附寄島開拓は新潟町の存亡に関する一大事であり町老近江屋が工事の目付役として関つた。然し、「近江屋曾平」の名は資料に無く時代的に五代目清左衛門が変名して町代表となり藩庁との交渉に当つたと考えられる。新潟・沼垂間での争訴、安倍玄的との約定等もあり本名を名乗る事を憚つた可能性がある。寛延二年「半蔵」と改名し十月十三日病没。

一、寺山幸助（新潟町民）寺山幸助は長岡藩より拝領地（毘沙門島）を賜る長老格、町役人の家柄。附寄島開拓に付いて金主取次ぎなどに助力して其の功績を藩主に認められ開拓地に三町歩の土地と当座の褒美金二十両を拝領した。



流作場開拓事業第一期終了検地検図
寛延3年11月(1760)



一、中倉源兵衛（高橋村民）高橋村は西蒲原郡岩室村高橋、後の三根山藩。中倉源兵衛に付いて明らかな事跡は分らない。

一、関川助市（片桐村民）片桐村は現在の見附市片桐町で新発田藩分家池之端家の所領だった。関川助市の事跡は明らかでない。

中倉、関川両者は新潟町とは関り無く開拓人安倍玄的が嘗て行なつた新田開拓に接点を感じられ本事業を保証支援する補佐役的存在であったと考えられる。

三社神社宮司 大橋毅



みやの万代ぶつぷつ

政令市移行から10年

平成19年4月より本州日本海側で唯一の政令市として歩みはじめ、8つの行政区において地域の特性を活かした個性あるまちづくりを進めてきた。◎安心協働都市の分野では一、地域で医療介護が受けられる地域包括ケアシステムを構築していく。◎環境健康都市の分野では一、健康都市の延伸に向け平成29年を「健康寿命の延伸元年」と位置づけ、地域ごとの健康度を見える化する。◎創造交流都市の分野では一、「世界」とつながる開港都市としての拠点性を活かし、国家戦略特区（農業特区）を活用した農業の6次産業化の促進や雇用の創出、文化や経済をはじめとした交流都市の活用向上につなげてきた。政令市移行から10周年を迎え、個性あふれる8区それぞれの一体感が醸成されるとともに協働によるまちづくりが進み、分権型政令市の土台を築くことができた。またこの10年はどう変わったか、文化・観光・経済を連動させた発展を目指したい。

広報委員 .. 宮川 善徳

編集後記

万代地域「ミ協」の総会が終わりました。14自治・町内会のうち6自治・町内会の新会長さんが就任されました。また「ミ協」の役員も交代就任しました。地域のことでもつぱら優先。昨日までと違つ立ち位置が「こんな事、あんな事」の新たなことに気付くこととなります。

広報委員：田所 暁雄